

将来お子さんを希望される方へ



～がん治療を開始するにあたって～

長野県がん診療連携協議会情報連携部会

はじめに



がん治療によって将来の妊娠・出産への機能が低下したり、なかにはお子さんを諦めなくてはならなかったりする方がいらっしゃいます。

近年そのような患者さんが、妊娠・出産の希望を残せるような医療を選択できるようになってきました。

将来お子さんを希望される場合には、がん治療に伴う「妊よう性」低下の可能性や「妊よう性」を残すための方法について理解し、適切な治療を選択することが大切です。

この冊子は、妊よう性温存に関する一般的な情報や、長野県内の相談窓口をまとめたものです。がんと診断されたばかりの方や、そのご家族は、がんの治療のこと、これからの生活のことで頭がいっぱいだと思います。けれどここで少しでも一緒に、将来こどもを持つ可能性について考えてみませんか？

目 次



●がん治療と妊よう性……………	1
●相談の流れ……………	2
●女性の妊よう性温存療法……………	3
●男性の妊よう性温存療法……………	5
●妊よう性温存療法の費用……………	6
●県内で妊よう性温存療法を行っている 主な施設……………	7
●相談窓口のご案内……………	8

妊よう性とは

男女問わず、「**妊娠する力**」を意味します。がん治療の影響で、精子や卵子が減少することがあり、妊よう性が失われたり、低下したりすることがあります。妊よう性を温存する方法として、生殖補助医療を用いた妊よう性温存療法があります。

がん治療と妊よう性

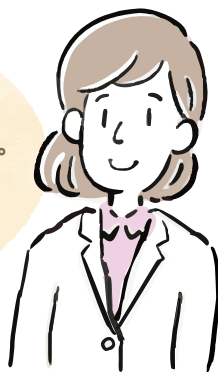
がん治療における妊よう性温存には、**卵子・受精卵・卵巣組織・精子の凍結保存**を行ったり、**妊よう性温存に配慮した手術方法や放射線照射方法を主治医と相談**したりする方法が考えられます。

一般的に、妊よう性を温存するためには、がん治療開始前に対策することが望ましいとされています。化学療法や放射線治療によって生殖機能が障害される可能性があることがその理由です。

がん治療とのバランスとタイミング

妊よう性温存を意識しすぎるあまり、がん治療が適切に受けられなかったり、遅れたりすることは望ましいことではありません。**がん治療と妊よう性温存が安全に両立できるか、時間的余裕がどの程度あるか**、といった点を**がん治療担当医に確認し、パートナーや家族と十分に話し合い**、納得できる現実的な選択をすることが大切です。

妊よう性温存療法は、
バランスやタイミングが大切な治療です。
相談の手順や窓口を流れで確認
してみましょう。



相談の流れ

1

がん治療担当医と相談しましょう

年齢や性別、がんの種類、治療内容などにより、がん治療が妊よう性に与える影響は異なります。妊よう性温存について、がん治療担当医から話を聞きましょう。その上で、妊よう性温存療法を希望するかどうかを十分に話し合しましょう。

2

妊よう性温存療法を希望する

③生殖医療機関の検討へ

妊よう性温存療法を希望しない

がん治療を開始・継続

3

生殖医療機関(妊よう性温存療法を行う医療機関)の検討

長野県内では、**本冊子7ページに掲載している医療機関**で妊よう性温存療法の相談・提供を行っています。がん治療医と話し合ってから受診する生殖医療機関を検討し、紹介してもらいましょう。

4

生殖医療機関を受診

生殖医療担当医より、具体的な妊よう性温存の方法に関する説明を受けましょう。

*受診料は自費負担(自費診療)になります。詳細は受診される医療機関にご確認ください。



1人で悩まない

がん治療と妊よう性について質問や希望がある場合は、がん治療担当医、看護師などに相談しましょう。

また、各地域の**がん相談支援センター(8ページ)**では、がん専門相談員による情報支援や相談援助を受けることができます。

次のページから、
女性、男性ごとの
妊よう性温存療法の方法
を見ていきましょう。

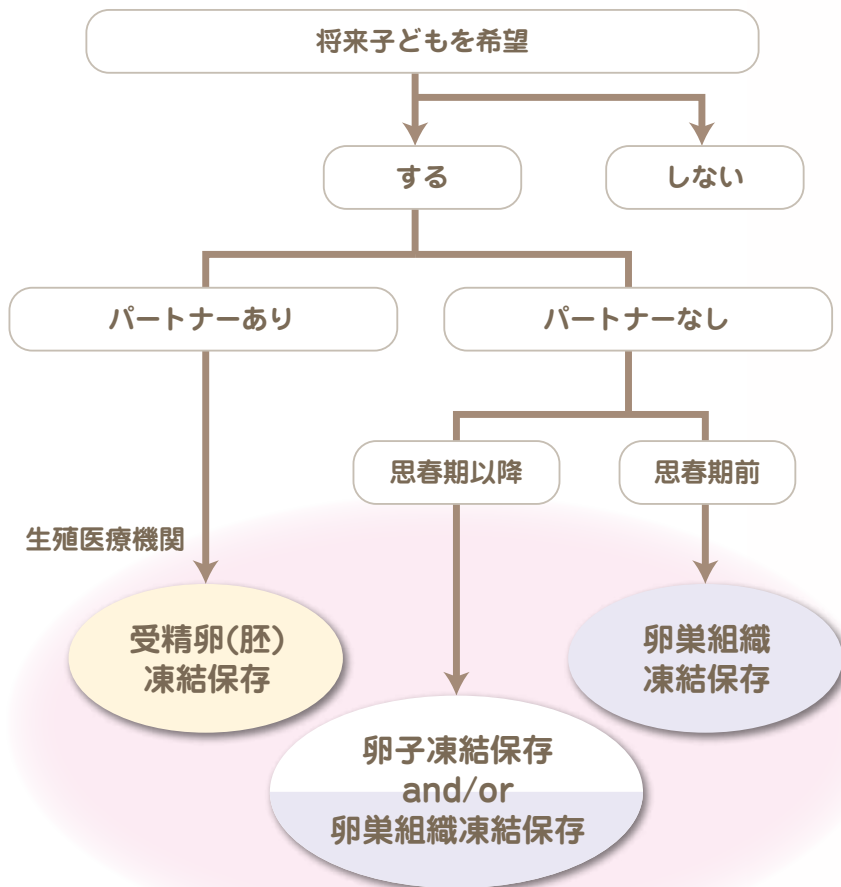




●女性の妊よう性温存療法

女性の妊よう性温存療法には、**卵子凍結**、**受精卵(胚)凍結保存**、**卵巢組織凍結**などがあります。

がんの種類、年齢、パートナー(夫)の有無などによって、妊よう性温存療法の方法が異なります。



※がんの状態や年齢によっては、妊よう性温存療法が推奨されない場合があります。

温存の方法

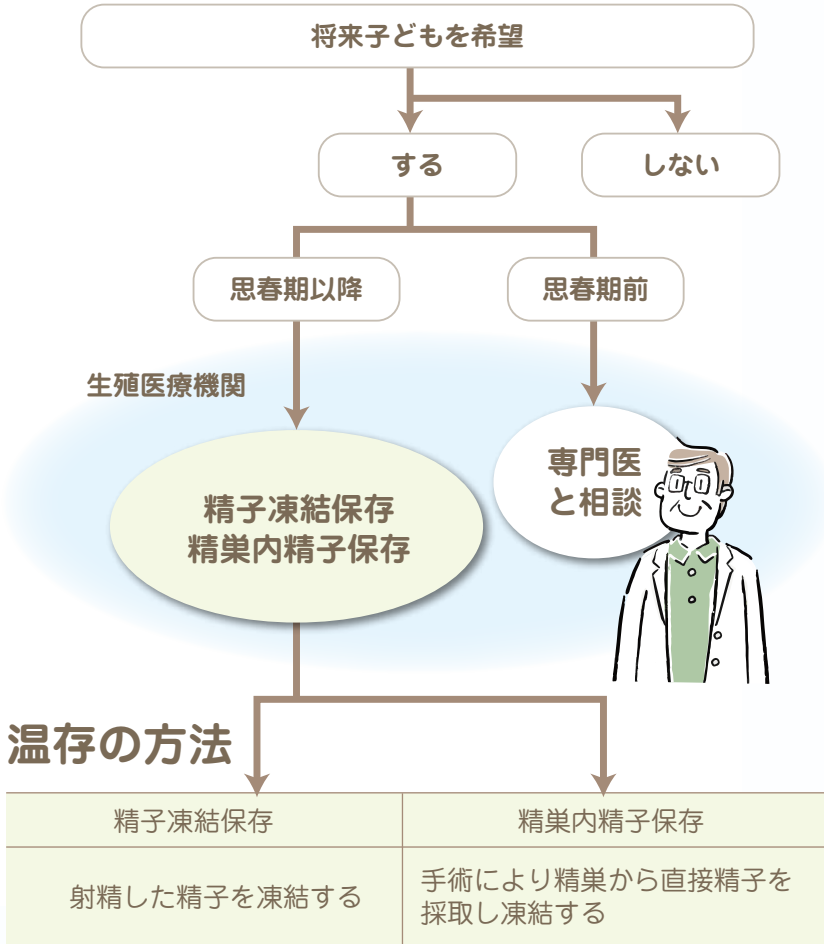
	受精卵(胚)凍結	卵子凍結	卵巣組織凍結
方法	採取した卵子を精子と受精させ、凍結する	採取した卵子を未受精で凍結する	手術により卵巣組織を採取し、凍結する
長所	妊娠率が比較的高い (15-30%、) (年齢による)	未婚でも可能	月経の周期に関係なく、いつでも採取可能
			小児・未婚でも可能
			長期保存可能
			卵巣組織内で、より多くの卵子を保存可能
短所	卵巣刺激が必要な場合がある		妊娠率などの治療成績や安全性が確立していない
	採卵までに時間がかかることがある		手術が必要
	パートナー(夫)が居ないと行えない	妊娠率が低い(10%下)	卵巣組織を移植する際にがん細胞を一緒に移植してしまう可能性がある



● 男性の妊よう性温存療法

男性の妊よう性温存療法として、**精子凍結保存**があります。

精液内に精子が存在しない場合などでは、精巣内の精子を手術により採取する場合があります。



※研究段階の方法として精巣組織の凍結保存が行われる場合があります。

妊よう性温存療法の費用

妊よう性温存療法の費用は、**自費診療**になります。以下の費用はあくまでも目安で、受診される医療機関により費用は異なりますので、詳細は受診の際にご確認ください。

方 法	費 用
卵子凍結	約35万円
受精卵凍結	約35万円
卵巣組織凍結	約60万円
精子凍結	約5万円
凍結精子を使った顕微授精	約40万円
凍結保存した場合の更新料	約2～6万円/年

出典：がん治療を開始するにあたって〈抗がん剤編〉
「小児・若年がん長期生存者に対する妊孕性のエビデンスと生殖医療ネットワーク構築に関する研究」班

妊よう性温存療法について 知っておきたいこと



1. がんの治療が最優先されます。
2. がんの病状や精巣や卵巣の状況によっては、妊よう性温存療法を行うことができない場合があります。
3. 妊よう性温存療法を行っても、必ず妊娠や出産ができるわけではありません。
4. 妊よう性温存療法以外にも、養子縁組や里子など、将来子どもをもつ選択肢があります。

県内で妊よう性温存療法を行っている主な施設

長野県内で妊よう性温存療法を行っている主な施設は以下の通りです。

(受診の際は、がん治療医へ相談し、紹介してもらう必要があります)

妊よう性温存療法が可能な施設

地域	施設名	精子凍結	卵子凍結	受精卵凍結	卵巣組織凍結	お問合せ先
北信	長野市民病院	○	×	○	×	生殖医療センター ☎026-295-1292(代)
	長野赤十字病院	○※1	×	×	×	泌尿器科外来 ☎026-226-4131(代)内線 2212
	南長野医療センター 篠ノ井総合病院※2	○※1	○	○	×	産婦人科外来、泌尿器科外来 ☎026-292-2261(代)
	吉澤産婦人科医院	○※3	×	○	×	外来診療時間内 ☎026-226-8475(代)
東信	浅間総合病院	○	×	○	×	産婦人科外来 ☎0267-67-2295(代)
中信	信州大学医学部 附属病院	○	○	○	△	生殖医療センター ☎0263-37-3106(代) 月～金 9:00-16:00
南信	諏訪マタニティークリニック	○	○	○	○	☎0266-28-6100(代) 月～金 9:00-12:00
	菜の花マタニティークリニック	○※3	×	○	×	☎0265-76-7087(代)
	西澤病院	○	×	○	×	婦人科外来 ☎0265-24-3800(代) 月～金 9:00-17:00 土 9:00-12:00

○ 対応可能 △ 準備中 × 対応不可

※1：精巣内精子まで採取可能

※2：対象は16歳以上のみ、男性は泌尿器科で対応

※3：男性のみでの精子凍結は不可、夫婦で不妊治療する場合のみ対応可能

妊よう性温存療法の情報提供が可能な施設

地域	施設名	お問合せ先
南信	駒ヶ根泌尿器科クリニック	☎0265-98-8876(代)
東信	佐久平エンゼルクリニック	☎0267-67-5816(代)
中信	北原レディースクリニック	☎0263-48-3186(代) 月～水、金 9:00-16:00 土 9:00-11:30

相談窓口のご案内

がん相談支援センター

がん診療連携拠点病院等に設置されている「**がん相談支援センター**」では、がんに関するあらゆるご相談にお応えします。相談は無料で、内容が外部に漏れることはありません。がんと妊よう性についても、がん専門相談員があなたとともに考え、大切な選択のお手伝いを致します。



長野県のがん相談支援センター一覧

信州大学医学部附属病院	☎ 0263-37-3045(直通)
佐久医療センター	☎ 0267-88-7184(直通)
諏訪赤十字病院	☎ 0266-57-7502(直通)
伊那中央病院	☎ 0265-72-3121(代表) 内線 8425
飯田市立病院	☎ 0265-21-2010(直通)
相澤病院	☎ 0263-33-1251(直通)
長野赤十字病院	☎ 026-217-0558(直通)
長野市民病院	☎ 026-295-1292(直通)
信州上田医療センター	☎ 0268-22-1895(直通)
長野県立木曽病院	☎ 0264-22-2703(代表) 内線 2191
北信総合病院	☎ 0269-23-2005(直通)
北アルプス医療センター あづみ病院	☎ 0261-62-3166(代表)

長野県がん生殖ネットワーク（暫定）窓口

信州大学医学部附属病院 生殖医療センター ☎0263-37-3106 月～金 9:00～16:00

現在、長野県内の医療機関が参加する「長野県がん生殖ネットワーク」を準備中です。
上記窓口では、妊よう性温存療法に関するご相談が可能です。

WEB情報

日本・がん生殖医療学会	http://www.j-sfp.org/	
「小児・若年がん長期生存者に対する妊孕性のエビデンスと生殖医療ネットワーク構築に関する研究」班	http://www.j-sfp.org/ped/index.html	
国立がん研究センターがん情報サービス	http://ganjoho.jp/public/index.html	
長野県がん診療連携協議会ホームページ (長野県内のがん相談支援センターの情報)	http://wwwwhp.md.shinshu-u.ac.jp/gankyougikai/kenmin/	
長野県ホームページ	https://www.pref.nagano.lg.jp/hoken-shippei/gan/	

発行 長野県がん診療連携協議会情報連携部会

連絡先 〒390-8621 長野県松本市旭3-1-1 信州大学医学部附属病院 医療支援課 医療連携係
電話:0263-37-3391 FAX:0263-37-2854

発行日：2020年4月第1版